

「いのちを支える社会づくりへ」

日英の自死遺族支援の発展と課題～社会政策の視点から～

“いつ、どこで、どのような形で大切な人を亡くしても、
その人が必要とするサポートを確実に得られる社会の実現”

グリーフから希望を 

「グリーフケアが当たり前にある社会」の実現を目指し
様々な取り組みを行う、日本財団国際フェロシップ
5期尾角光美氏によるセミナーを開催いたします。
派遣先の英国で学んだ「自死遺族へのグリーフケア・
サポートの現状」を日本と英国の比較からお伝えします。

3/2
(金)

18:30～
日本財団ビル1階

**日本財団**
THE NIPPON
FOUNDATION

お問い合わせ

日本財団 国際フェロシップ事務局

Tel: 03-6229-5181 Email: fellowship@ps.nippon-foundation.or.jp

プログラム

- 18:00 - 受付開始
18:30 - 挨拶／登壇者紹介
18:45 - パート1：日英の自死遺族支援の発展と課題～社会政策の視点から～
(発表・QA・ワークショップ)
20:00 - 休憩
20:10 - パート2：リヴォンの「現在」を報告
21:00 - 終了

登壇者プロフィール



尾角 光美 (おかくてるみ)

(一般社団法人リヴォン 代表)

2016年8月より日本財団国際フェロー5期生として渡英。2018年1月ヨーク大学大学院修士課程卒業。国際比較社会政策学修士号取得。19歳で母を亡くした後、あしなが育英会で病気、災害、自殺、テロ等による遺児たちのケアに携わる。2006年自殺対策基本法制定以後、全国の自治体、学校などから講演、研修の講師として呼ばれ、自殺予防やグリーフケアに関して伝え広める。2009年「グリーフケアが当たり前にある社会」の実現を目指してリヴォンを立ち上げる。



水口 陽子 (みずぐちようこ)

(一般社団法人リヴォン 理事)

2012年に夫を交通事故により亡くす。翌年リヴォンと出会い「いのちの学校」「ファシリテーター養成講座」を全回修了。現在、全国の自治体、僧侶、小中学生を対象とした講演の講師を務める。また、リヴォン主催のいのちの学校、ファシリテーター養成講座、僧侶のためのグリーフケア連続講座にて講師を務めている。他、2004年よりNPO法人マドレボニータで認定産前・産後セルフケアインストラクターに従事している。

会場

◎京都会場

日時：2月26日(月)18時半～21時
(18時～受付開始)

会場：ウエダ本社 北ビル2階

アクセス：<https://goo.gl/RVvYHo>

◎東京会場

日時：3月2日(金)18時半～21時
(18時～受付開始)

会場：日本財団ビル1階バウルーム

アクセス：<https://goo.gl/EkCtT8>



お申し込みはこちら

<https://goo.gl/Mpddrr>



お問い合わせ

日本財団 国際フェロシップ事務局

Tel: 03-6229-5181 Email: fellowship@ps.nippon-foundation.or.jp